

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月13日

上場会社名 株式会社ジェイエスエス

上場取引所 東

コード番号 6074 URL <http://www.iss-group.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤木 孝夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 田原 富夫

TEL 06-6449-6121

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	5,539	3.1	271	5.5	232	7.7	105	△40.1
25年3月期第3四半期	5,374	—	257	—	215	—	176	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	55.03	—
25年3月期第3四半期	102.19	—

当社は、平成24年3月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成25年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第3四半期	5,001	—	1,512	—	30.2
25年3月期	4,895	—	1,156	—	23.6

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 1,512百万円 25年3月期 1,156百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	7.00	7.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,286	3.0	364	17.8	309	17.2	154	△46.8	79.32

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	2,013,028 株	25年3月期	1,958,028 株
26年3月期3Q	57 株	25年3月期	245,000 株
26年3月期3Q	1,919,197 株	25年3月期3Q	1,724,028 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定期性情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による金融緩和や財政政策等の経済政策により、円安と株価上昇が進み、輸出関連企業を中心に業績の改善が見られるなど、緩やかに景気回復の兆しが見えてまいりました。

しかし、雇用や所得環境は依然として厳しく、更には平成26年4月以降の消費税増税による消費減退も懸念され、国内景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしております。

このような環境下、当社の属するスイミングスクール業界は、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催の決定を受け、将来の出場を夢見る子供たちが小中学生を中心に増えつつあり、明るい兆しが見え始めました。

当社におきましては、第1四半期、第2四半期に引き続き当社ホームページの各事業所別のページの情報更新を積極的におこなうことによって、スクール会員の利便性向上と地域密着型の営業姿勢を打ち出し、各地域における知名度向上を継続的に図っております。大人会員につきましても、当期より当社オリジナルの新水中プログラム「アクアスティックマジック」の提供を行い、既存新規会員に対するサービス向上ならびに新規会員獲得を図ってまいりました。

新規事業所につきましては、平成25年11月にJ S Sスイミングスクールりもね（大阪府守口市）を開設いたしました。

このような営業施策により、第3四半期末の会員数については、子供会員は86,467名（前年同期比0.8%増）と増加しましたが、前事業年度に契約終了したフィットネスクラブオーシャンの会員数減が影響し、第3四半期末の会員数は102,122名（前年同期比0.7%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は5,539百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益271百万円（前年同期比5.5%増）、経常利益232百万円（前年同期比7.7%増）となり、四半期純利益につきましては、法人税等の増加により105百万円（前年同期比40.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ105百万円増加し、5,001百万円となりました。これは主に、流動資産の現金及び預金が157百万円、有形固定資産の建物が77百万円それぞれ増加した一方で、無形固定資産が53百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ250百万円減少し、3,489百万円となりました。これは主に、固定負債の長期借入金が322百万円減少した一方で、流動負債の短期借入金が71百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ355百万円増加し、1,512百万円となりました。これは主に、公募による新株式の発行及び公募による自己株式の処分により資本金が24百万円、資本剰余金が115百万円それぞれ増加した一方で、自己株式が122百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年6月27日に公表しました業績予想から修正を行っておりません。なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	249,948	407,627
受取手形及び売掛金	127,062	118,855
商品	67,806	72,070
その他	99,265	81,036
貸倒引当金	△1,350	△900
流動資産合計	542,733	678,690
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,663,743	1,741,720
土地	1,660,626	1,660,626
その他(純額)	156,415	159,079
有形固定資産合計	3,480,785	3,561,427
無形固定資産		
投資その他の資産	163,744	110,716
敷金及び保証金	547,146	532,880
その他	161,215	117,443
投資その他の資産合計	708,361	650,323
固定資産合計	4,352,891	4,322,467
資産合計	4,895,624	5,001,157
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	164,229	191,710
短期借入金	78,335	150,000
1年内償還予定の社債	48,500	48,500
1年内返済予定の長期借入金	450,010	439,204
未払法人税等	62,130	61,646
未払消費税等	26,453	39,767
前受金	411,061	427,329
賞与引当金	64,149	—
その他	479,142	524,192
流動負債合計	1,784,011	1,882,350
固定負債		
社債	204,500	180,250
長期借入金	1,427,965	1,105,120
退職給付引当金	194,875	193,110
資産除去債務	45,910	62,568
その他	82,125	65,745
固定負債合計	1,955,377	1,606,795
負債合計	3,739,388	3,489,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	306,694	330,729
資本剰余金	10,000	125,665
利益剰余金	962,040	1,055,655
自己株式	△122,500	△37
株主資本合計	1,156,235	1,512,012
純資産合計	1,156,235	1,512,012
負債純資産合計	4,895,624	5,001,157

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	5,374,354	5,539,705
売上原価	4,500,441	4,659,088
売上総利益	873,912	880,616
販売費及び一般管理費	616,734	609,420
営業利益	257,178	271,196
営業外収益		
受取利息	5	7
受取配当金	160	159
生命保険配当金	1,475	—
貸倒引当金戻入額	413	450
保険解約返戻金	—	8,777
受取保険金	313	3,540
その他	886	1,325
営業外収益合計	3,253	14,259
営業外費用		
支払利息	36,771	21,444
社債利息	1,946	1,633
株式公開費用	—	13,257
株式交付費	—	10,792
その他	5,782	5,862
営業外費用合計	44,500	52,991
経常利益	215,932	232,464
特別利益		
固定資産売却益	—	14
特別利益合計	—	14
特別損失		
固定資産除却損	2,132	519
特別損失合計	2,132	519
税引前四半期純利益	213,799	231,958
法人税、住民税及び事業税	36,159	80,797
法人税等調整額	1,461	45,555
法人税等合計	37,620	126,353
四半期純利益	176,178	105,605

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、株式会社大阪証券取引所(現 株式会社東京証券取引所) JASDAQ(スタンダード)への株式上場にあたり、公募による新株式の発行及び公募による自己株式の処分を行い、平成25年6月26日に払込が完了いたしました。この結果、資本金が24,035千円、資本剰余金(資本準備金)が24,035千円、資本剰余金(その他資本剰余金)が91,630千円それぞれ増加した一方で、自己株式が122,500千円減少したことにより、当第3四半期会計期間末において資本金が330,729千円、資本剰余金が125,665千円となっております。

なお、平成25年5月24日及び平成25年6月7日開催の取締役会において、株式会社SBI証券が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しが行われることを条件として、同社を割当先とする第三者割当による新株式の発行を決議いたしました。株式会社SBI証券はシンジケートカバー取引により当社株式を取得したため、当該新株式の発行は行われませんでした。

(セグメント情報等)

当社はスイミングスクール運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。